令和2年度 保健体育科(保健) 第2学年 シラバス

				<u> </u>	<u>17 (</u>	、休健/ 弟と子年 ンプハス					
1	7	傷害の防止	・自然災害や交通事故などによる傷害は人的要因や環境要因などがかれる。	4	関	傷害の防止について,資料を見たり,自分の日常生活を振り返ったりしながら,課題を見つけようとしたり,その解決方法を調べようとしたりする。また,応急手当の実習に取り組もうとする。			0	0	0
	3		かわって発生すること,また,傷害の 多くは安全な行動,環境の改善に よって防止できることを理解させる。		思	傷害の防止について、自分の経験や地域の生活等を振り返り、課題を見つけ、文献 の収集や資料分析などを通して、その解決の方法を選んでいる。また、状況に応じ た応急手当の方法を見つけている。			0	0	
2	10	1	0 × 10 m (C a c c c : ±/1/ c c a o	1	技						
	4			•		自然災害や交通事故などによる傷害の発生要因や防止対策について把握している。 また、応急手当の意義と方法について、実践に基づいて把握している。	0				
		☆言語活動	学習内容をまとめたり発表することができる。								0
		傷害の防止	・自然災害や交通事故などによる傷害は人的要 因や環境要因などがかかわって発生すること,ま	4	関	傷害の防止について、資料を見たり、自分の日常生活を振り返ったりしながら、調題を見つけようとしたり、その解決方法を調べようとしたりする。また、応急手当			0	0	0
	11		た,傷害の多くは安全な行動,環境の改善によっ て防止できることを理解させる。	-	思	傷害の防止について、自分の経験や地域の生活等を振り返り、課題を見つけ、文献の収集や資料分析などを通して、その解決の方法を選んでいる。また、状況に応じた広急手当の方法を見つけている。			0	0	
ı	4				技						
	0				知	自然災害や交通事故などによる傷害の発生要因や防止対策について把握している。 また、応急手当の意義と方法について、実践に基づいて把握している。	0				
		☆言語活動	言語活動 学習内容をまとめたり発表することができる。								0
3	1	ప.	応じた食事、運動、休養・睡眠の調和のと れた生活が必要であり、生活習慣の乱れは 健康を損なう原因となることを理解させ	4	関	健康の保持増進のために必要な生活行動や病気の予防について、自分の日常生活を振り返りながら、課題を見つけようとしたり、その解決方法を調べようとしたりする。			0	0	0
	4				思	健康の保持関連のために必要な生活行動や病気の予防について、自分の知識や日常生活 等を振り返り、課題を見つけたり、文献の収集や資料分析などを通して、その解決の方法を 達んだりしている。			0	0	
					技						
				知	健康の保持増進にかかわる生活習慣や喫煙、飲酒、薬物乱用の影響、および感染症などに ついて、科学的に理解し、日常生活の課題解決に役だつ知識を身につけている。	0					
ı		☆言語活動	学習内容をまとめたり発表することがで	できる。							0
	2	健康な生活と病 気の予防	・喫煙・飲酒・薬物乱用などの行為は心身にさまざまな影響を与え、健	4	関	健康の保持増進のために必要な生活行動や病気の予防について、自分の日常生活を振り返りながら、課題を見つけようとしたり、その解決方法を調べようとしたりする。			0	0	0
	4	康を損なう原因になること、そのような行為に誘われたときには適切に対処する必要があることを理解させる。	な行為に誘われたときには適切に対		思	健康の保持増進のために必要な生活行動や病気の予防について、自分の知識や日常生活 等を振り返り、課題を見っけたり、文献の収集や資料分析などを通して、その解決の方法を 遠んだりしている。			0	0	
- [たりる必要があることを理解させる。		技						
				知	健康の保持増進にかかわる生活習慣や喫煙,飲酒,薬物乱用の影響,および感染症などに ついて、科学的に理解し、日常生活の課題解決に役だつ知識を身につけている。	0					
		☆言語活動	学習内容をまとめたり発表することがで	できる。							0
_			総時数	16			•	_			